

これからの 気仙沼の**家庭**と**地域**を考える

男性だから、女性だからを超えて

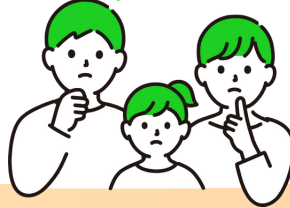
育児も家事も
全部私



男は育休が
取りにくい



男は仕事？
女は家庭？



介護は長男の嫁？



日時

2月16日(日)

14:00-16:00 (開場13:30)

会場

気仙沼中央公民館 ホール

基調講演

🕒 14:20~

可能性の扉を開く

~これからの男女の生き方・働き方~

及川 美紀 氏

株式会社ポーラ 前代表取締役社長

一般社団法人 ダイアログ・ジャパン・ソサエティ理事

宮城県石巻市出身。大学卒業後、1991年株式会社ポーラ化粧品本舗（現株式会社ポーラ）入社。子育てをしながら30代で埼玉エリアマネージャーに。2009年商品企画部長。12年に執行役員、14年に取締役就任。商品企画、マーケティング、営業などバリューチェーンをすべて経験し、20年1月~24年12月まで代表取締役社長。（トータルビューティー事業本部長兼務）誰もが自分の可能性をひらくことができる社会をミッションに、パーパス経営・ダイバーシティ経営を牽引している。

令和6年10月に発足した「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」では、地域や家庭におけるジェンダーギャップを考え、誰もが暮らしやすい地域・社会の構築に向けての学びを得る講演会を開催します。

参加・託児
無料

定員
200名



トークセッション

🕒 15:30~

「これからの気仙沼の家庭と地域を考える」

登壇者は裏面をご覧ください >>>

トークセッション登壇者

株式会社ポーラ 前代表取締役社長
一般社団法人 ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ理事

コメンテーター
及川 美紀 氏

パネリスト

にじのわ助産院
看護師・助産師



大森 美和 氏

2012年東日本大震災の被災者支援を行うため気仙沼へ。現在は「NPO法人プロジェクトK」の代表理事として、地域の健康支援を続けながら、新たに地域の小中高生に「いのちと性のお話」を広める活動をしている。2020年に妊娠期から産後の心身のケアや女性の健康相談を行う「にじのわ助産院」を開業。「気仙沼市男女共同参画審議会委員」「けせんぬまWell-beingプラン推進会議推進委員」を務める。

パネリスト

気仙沼市
ジェンダーギャップ解消
プロジェクト共同代表



菅原 昭彦

日本酒「蒼天伝」醸造元(株)男山本店代表取締役社長。気仙沼商工会議所会頭として、地域の産業再生・観光振興に取り組む。また日本商工会議所観光委員会副委員長として全国の観光まちづくりを推進している。2024年10月共同代表として「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」を発足。経済界・産業界からジェンダーギャップ解消の取り組みを推進している。

モデレーター

株式会社Will Lab
代表取締役



小安 美和 氏

1995年日本経済新聞社入社。2005年リクルート入社、リクルートジョブズ執行役員等を経て16年退社。スイス IMD「女性の戦略的リーダーシッププログラム」修了。女性のエンパウメントをテーマに株式会社Will Labを設立。内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員。「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」のコーディネーター、運営支援を担う。

気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト

ジェンダーギャップとは、男女の違いにより生じる格差のことをいいます。ジェンダーギャップは、社会通念・慣習などにより、「家事や子育ては女性の仕事」、「女性は庶務や経理の仕事が向いている」、「男女で賃金格差がある」、「男性は育児休暇を取りにくい」など、家庭・地域・職場などさまざまな場面で現れています。本市では人口減少が進み、若者、特に女性の流出やUターン率の低さが大きな課題となっており、ジェンダーギャップもその要因の一つとして考えています。人口減少の緩和とともに、企業の人材獲得・確保のためには、ジェンダーギャップ解消の理解と取り組みを推進し、男性も女性も誰もが働きやすく、働きがいのある職場環境を作ることも必要です。ジェンダーギャップ解消の取り組みについては、『～こどもと女性の瞳かがやく～けせんぬま Well-being プラン 2024』の中の「雇用創出」、「就労環境の改善」の打ち手の一つに「ジェンダーギャップ解消」、「女性の自己実現」、「女性活躍」の視点・施策を取り入れており、また、気仙沼商工会議所人口減少対策委員会から市へ提出された提案書にも盛り込まれていることから、官民連携でジェンダーギャップ解消の取り組みを推進していくため、令和6年10月「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」を発足させました。



～こどもと女性の瞳かがやく～
けせんぬま Well-being プラン 2024



本市では、市民100名規模の参画による「けせんぬま未来人口会議」において、人口減少緩和のために必要となる施策・取組アイデアの創出や議論を重ね、令和6年5月に人口減少対策のための行動計画「～こどもと女性の瞳かがやく～けせんぬま Well-beingプラン2024」を策定しました。

Well-beingとは？

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを表す言葉です。

『市民の暮らしやすさ (Well-being) の実現』が本市の人口減少対策の本質

申込締切

2/7 金



市民向けセミナー お申込み

下記の二次元バーコードまたはお電話にてお申込みください。



託児なしの方の
申込フォーム



託児ありの方の
申込フォーム

気仙沼市震災復興・企画課
けせんぬま創生戦略室
☎ 0226-52-0695